事業名	期日	場所
北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議	３月２９日	八雲町

活動内容	町長の想いや願い
２３年度の北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議が開催されました。 八雲保健室管内４町の町長、保健・医療・福祉団体、高齢者・婦人団体代表者で構成され、総合的かつ一体的な推進を目指す組織です。 今金町長が会長を務め、連携した取り組みをしていますが、調査・研究・検討の具体的な事については、生活習慣病・救急医療・在宅医療・歯科保健の各専門部会において各町担当者による取り組みが行われています。 生活習慣病部会は、特に、糖尿病対策と幼児の生活習慣改善に向けた研修を重点に行われています。救急医療部会は、特に救急搬送実態と様々な声をまとめたりして課題整理をしていますが、法の関わりから解決が難しい状況にあります。今金の２２年度実績は、２０３件高齢者が７０%、乳幼児も１０件あり、６５%が国保、１７%が八雲、１７%が函館への搬送です。４９件が搬送時間９０分以上かかっていることから、道南地区で検討しているドクターヘリ導入が望まれるところです。	在宅医療部会については、国保加入者のレセプトからの受診動向調査を行い報告されました。１ヶ月分のレセプトですが、様々なことが読み取れます。しかし、会長からもコメントを出しましたが、傾向としては、施設利用志向が多く、医療系サービス希望が少ないのが実態であります。歯科保健部会は、フッソ物洗口普及を目指している状況報告に基づき意見もありましたが、保護者の同意が無ければならないことから、どうしても、懸念・異論を持たれている方もいるようで、更なる丁寧な説明を行い実施に向けて努力することで確認しました。 自治体病院等の役割と医療機能の見直しのための分析シートを作成することから、原案が提示され、更に、検討を加え道に提出することになります。 第５期の道の高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画と第３期道の障がい福祉計画の概要の説明を受けたところです。





